

Install FAX Service

ES-89Light — 配線する信号は (L) 表示です。

平成17年 2月16日 作成
平成20年 7月16日 更新
BOX No.105202

車両情報

トヨタ ヴィッツ

平成17年2月～

SCP9#・NCP9#・KSP9#系

1/3ページ

ES-89Light

Type

N.L.

Opt.

① プッシュボタンスタートシステム (スマートキー) 無し車のみ

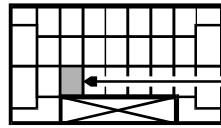
J/B内左上側
30P白色カプラ

① バックドアの開閉検出をする場合のみ、配線します。ドア検出ユニット (別売) が必要です。

バックドア(白/黒)
空色

① 平成17年2月～19年8月

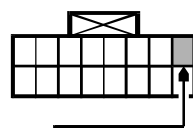
J/Bの上側中継
25P白色カプラ



L端子(茶)
青

① 平成19年8月～

センターメーター裏の左側
16P白色カプラ



L端子(茶)
青

コラムカバー内
キーシリンダ直付け



(V)

① CN2のPポジション (青色) 配線を必ず接続してください。また、左下記の手順でフットブレーキを使用して、A/T車設定を行ってください。

① クランキング固定時間の設定 (セルモータを回す時間の変更) 機能は、使用できません。誤って設定を行うと、クランキング時間が短くなりますので、この設定は行わないでください。

① セキュリティ機能等を使用する場合のドア検出配線の接続方法については、3/3ページを参照してください。

旧モデルは2/3ページ参照のこと

① Pポジション配線して、フットブレーキで行う。

A/T車設定が必要な行 (L) のみ

(A/T車設定作業について) 配線・受信機取り付け終了後、下記の手順で設定を行ってください。

- ① 車両のキースイッチをONにする。
- ② リモコンでSTOPを押す。
- ③ 車両のブレーキを踏み、受信機のアラーム音が変わった後 (約3秒後) ブレーキを放す。
- ④ 車両のキースイッチをOFFにしてキーを抜く。
- ⑤ 設定完了。

※設定作業をしないと、エンジンスタートでエンジンがかかりません。

配線内容 (受信機CN2緑色)
車両配線色

止めネジ等

- ナット
- ビス
- 隠れビス

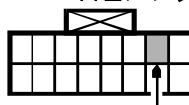
J/B内左側
6P白色カプラ



ドア(紫or白/黒)
桃

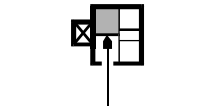
① バックドア以外の全ドアを検出。

J/B内右上側
16P白色カプラ



Pブレーキ(橙)
黄

フットブレーキ上側
4P白色カプラ

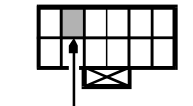


Pポジション(青)
緑

① 必ず配線してください。(通常時: 0Vで、フットブレーキを踏んだとき: 12V)

③

コラム下側
12P白色カプラ



ホーン(緑)
黒

① 機能付き機種のみ配線

① カバー類の外し方

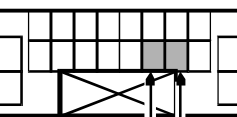
運転席側

- ① コラムカバーを外す。(下側からネジ1本と、ハンドルを回して正面から左右にネジ各1本)
- ② 右サイドステップのカバーを外す。
- ③ 右サイドカバーを外す。

助手席側

- ④ グローブBOXを外す。

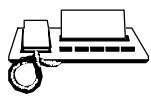
サイドカバー内
2個並んでいる下側
20P白色カプラ



ドアロック(灰)
茶

アンロック(黄)
緑

① この資料は、当社に於いて見取りを実施した車両をもとに作成してあります。年式、グレード等によって違いが生じる場合がありますのでご注意ください。



Install FAX Service

ES-89Light — 配線する信号は ① 表示です。

平成17年 2月16日 作成
平成20年 7月16日 更新
BOX No.105202

車両情報	トヨタ ヴィッツ	① プッシュボタンスタートシステム (スマートキー) 無し車のみ	ES-89Light	Type	N.L.
	平成17年2月~	SCP9#・NCP9#・KSP9#系	2 / 3 ページ	Opt.	

旧モデルは、このページ参照のこと

旧モデルは、オプションリレー (別売) を使用して、必ず CN2 の P ポジションをこのページの指示通りに接続すること。

該当機種 : 旧 ES-89Pico/Light

フットブレーキ上側
4P白色カプラ



① 必ず配線してください。
(通常時 : 0V で、
フットブレーキを踏んだ
とき : 12V)

P ポジション (青)
緑

① オプションリレーの
(赤) に接続



① P ポジション配線して、
フットブレーキで行う。

A/T車設定が必要な行 ① のみ

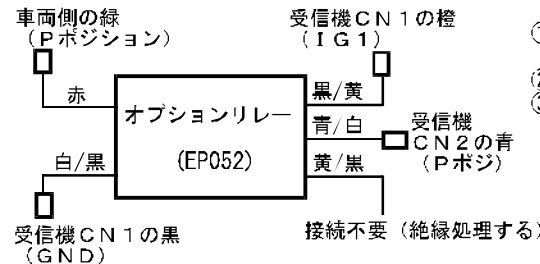
(A/T車設定作業について)
配線・受信機取り付け終了後、
下記の手順で設定を行って
ください。

- ① 車両のキースイッチをONにする。
- ② リモコンでSTOPを押す。
- ③ 車両のブレーキを踏み、受信機のアラーム音が変わった後 (約3秒後) ブレーキを放す。
- ④ 車両のキースイッチをOFFにしてキーを抜く。
- ⑤ 設定完了。

※設定作業をしないと、エンジンスタートでエンジンがかかりません。

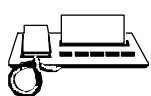
配線内容 (受信機 CN2 緑色)
車両配線色

① P ポジションの配線方法



- ① オプションリレー (別売) を使用して、左図のように P ポジション配線を接続してください。
- ② 受信機のモードスイッチ 2 番を ON にしてください。
- ③ A/T車設定が必要な機種は、フットブレーキで A/T車設定を行ってください。(設定手順は、左下記を参照)

① この資料は、当社に於いて見取りを実施した車両をもとに作成してあります。年式、グレード等によって違いが生じる場合がありますのでご注意ください。



車両情報

トヨタ ヴィッツ
平成17年2月～

SCP9#・NCP9#・KSP9#系 3/3ページ

ES-89Light **Type** N.L.

① プッシュボタンスタートシステム (スマートキー) 無し車のみ

Opt.

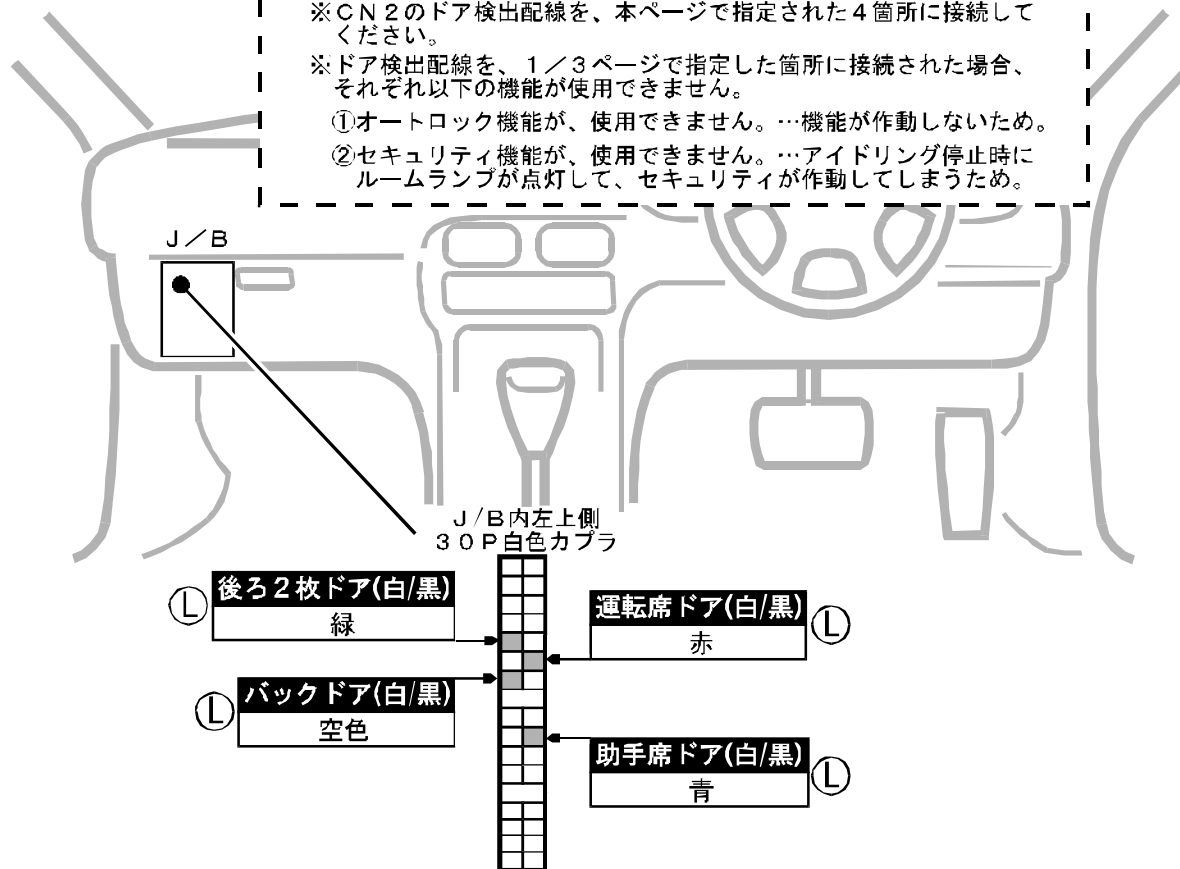
① セキュリティ機能、またはオートロック機能を使用する場合は、別売のドア信号検出ユニットⅡ (商品コード: EP131) を使用して、CN2のドア検出配線 (紫) は、必ず下記の4箇所に分岐接続してください。

① 特有の注意事項 (セキュリティ機能等を使用する場合のみ)

※CN2のドア検出配線を、本ページで指定された4箇所に接続してください。

※ドア検出配線を、1/3ページで指定した箇所に接続された場合、それぞれ以下の機能が使用できません。

- ① オートロック機能が、使用できません。…機能が作動しないため。
- ② セキュリティ機能が、使用できません。…アイドリング停止時にルームランプが点灯して、セキュリティが作動してしまうため。



配線内容(受信機CN2線色)

車両配線色

車種別専用ハーネスについての注意事項

共通追補版

平成19年 9月 1日

ES-89ProLight IIの盗難発生警報装置に関する注意事項

■ES-89ProLight II (ESL24) を取り付けする場合

①初年度登録が2006年(平成18年)7月以降の車両は、必ずヒューズ(25A)付きの専用ハーネス(VAS対応品)で取り付けをしてください。



❗車種別取付資料では、ヒューズ付き専用ハーネス(VAS対応品)を、左記のように記載しています。

VAS対応品の専用ハーネスは、頭文字がVで始まり、(V)の表示をしてあります。

左記の場合、VT120LがVAS対応品です。

②初年度登録が2006年(平成18年)6月以前の車両に取り付けする場合、専用ハーネスはどちらを使用しても問題ありません。

■ES-89ProLight II (ESL24) 以外のエンジンスターターを取り付けする場合

※初年度登録年月に関係なく、専用ハーネスはどちらを使用しても問題ありません。

但し、旧型モデル(オートマチック車の認識設定を行わずに取り付けするモデル)については、旧型専用のハーネスを使用する場合がありますので、販売店にお問い合わせください。

ES-89ProLight IIの盗難発生警報装置に関する注意事項

ES-89ProLight IIは、盗難発生警報装置付きのエンジンスターターです。

このモデルは、平成18年7月より施行された道路運送車両法、盗難発生警報装置技術基準(新保安基準)に適合しており、全国自動車用品工業会(JAAMA)の盗難発生警報装置自主基準(VAS)を取得した製品です。

平成18年7月より運用を開始した新保安基準を遵守するため、取り付け等にあたっては注意が必要です。(以下を確認してください)

①初年度登録が2006年(平成18年)7月以降の車両は、新保安基準に該当します。

❗該当車両への取り付けは、ヒューズ付き専用ハーネス(VAS対応品)の使用が必須となります。

②盗難発生警報装置(機能)を使用する場合、全てのドア(バックドア等も含む)開検知が必要です。

❗該当車両は、全ドアの開検知ができるように、車種別取付資料を参照して取り付けをしてください。車両により、ドア検出ユニット(別売)が必要になります。

③登録証(全国自動車用品工業会自主基準登録証)は、必ずお客様にお渡しください。

❗製品に付属の登録証は、取り付けされた車両の車検実施時に、製品が盗難発生警報装置技術基準に適合したものであることを証明するためのものです。必要事項をご記入の上、必ずお客様にお渡しください。

なお、登録証があっても不適切な取り付け状態が確認された場合、車検時に不合格となることがあります。